

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1989
Jtitle	哲學 No.89 (1989. 12) ,p.259- 259
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000089-0259

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

木の葉の落ちた梢から覗く冬の空がことのほか美しい。国の内外で何かと変動の大きかったこの一年も余すところわずかとなった。歴史は確実に動いていると、時の持つ重みを改めて実感させられた一年であった。二ヶ月程前、名誉博士の学位授与式に臨んで来校され、多くの人々がその言葉に耳を傾けたサハロフ博士も今は亡い。実に時は人の想いを超えて容赦ない。しかし、生気の失せたこの梢からも、春には再び新緑が芽吹くのであろう。人の心に蒔かれた言葉も又再

び、時を経て新しい生命を得るのであろうか。

本号から、前田先生に代わって編集担当として、刊行のお手伝いをさせて頂くことになった。今回はほぼ過不足のない篇数に恵まれ、ご投稿いただいた方々に感謝する次第である。引き続き、より多くの会員の方々のご寄稿とご協力をお願いすると共に、本誌についてのご意見、ご要望があれば、何でもご遠慮なくお寄せいただきたいと願っている。

(谷 寿美)